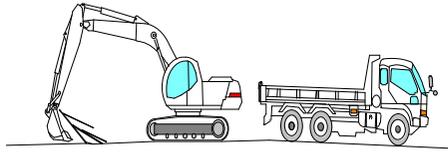
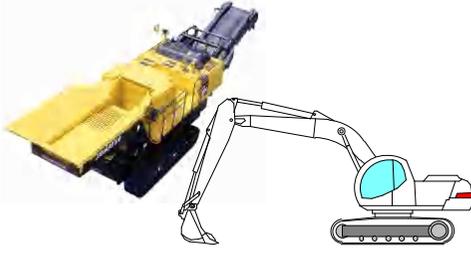


## 二酸化炭素【CO2】排出量比較表

技術名：再生クラッシャーラン製造工(脱着式)

	新技術 再生クラッシャーラン製造工(脱着式)	従来技術 処理施設へ運搬・処理	従来技術 骨材再生工(自走式)	従来技術
工法概要	・市場に出回っているバックホウ(山積0.8m <sup>3</sup> )に、アタッチメント式の再生骨材製造機(脱着式)を取付け、現場内に於いて再生骨材を製造し、現場内利用を図る。	・バックホウでダンプトラックに積み込みを行い、中間処理施設へ運搬・処理を行う。現場で使用する路盤材、基礎材については購入する。	・自走式破砕機をコンクリート塊の堆積仮置場に設置し、バックホウ(山積1.0m <sup>3</sup> )にて投入し、再生骨材を製造し、現場内利用を図る。	
概略図				
殻運搬運搬		【ダンプトラック10t積 1台】、燃料消費量76ℓ/日、3.37日*76ℓ=256ℓ	【ダンプトラック10t積 1台】、燃料消費量76ℓ/日、0.97日*76ℓ=74ℓ	
備考		100m <sup>3</sup> 当り3.37日、積み込み除く、処理施設までの距離L=10.0kmと仮定	100m <sup>3</sup> 当り0.97日、積み込み除く、仮置施設までの距離L=0.3kmと仮定	
100m <sup>3</sup> 当り	0ℓ	256ℓ	74ℓ	
骨材製造	【0.8m <sup>3</sup> バックホウ 1台】、燃料消費量108ℓ/日、100m <sup>3</sup> /42m <sup>3</sup> *108ℓ	【1.0m <sup>3</sup> バックホウ 1台】、燃料消費量122ℓ/日、100m <sup>3</sup> /86m <sup>3</sup> *122ℓ=142ℓ	【1.0m <sup>3</sup> バックホウ 1台】、燃料消費量122ℓ/日、100m <sup>3</sup> /86m <sup>3</sup> *122ℓ=142ℓ	
備考		【自走式破砕機 開き925mm、幅450mm】、燃料消費量169ℓ/日、100m <sup>3</sup> /86m <sup>3</sup> *169ℓ=197ℓ	【自走式破砕機 開き925mm、幅450mm】、燃料消費量169ℓ/日、100m <sup>3</sup> /86m <sup>3</sup> *169ℓ=197ℓ	
100m <sup>3</sup> 当り	257ℓ	339ℓ	339ℓ	
購入骨材運搬距離L=10km		【ダンプトラック10t積 1台】、燃料消費量76ℓ/日、3.0日*76ℓ=228ℓ		
備考		100m <sup>3</sup> 当り3.0日、積み込み、土場集積除く		
100m <sup>3</sup> 当り	0ℓ	228ℓ	0ℓ	
合計	257 ℓ	823 ℓ	413 ℓ	
二酸化炭素排出量	668 キログラム	2,140 キログラム	1,073 キログラム	
備考	ガソリン1ℓ当りのCO2排出量は約2.3kg、軽油は約2.6kg			
2ℓヘッドボトル換算	170,340 本分	545,700 本分	273,820 本分	
備考	・CO2(0度、1気圧)1kgは509ℓ。2ℓヘッドボトル換算値255			
総合評価				